

「吉田システムは東北のあしたのために挑戦し続けるYSグループの一員です」

建設資材の専門商社「吉田産業」を親会社とし、建設関連、IT関連、エネルギー関連、サービス関連など様々な事業を展開するYSグループ20社の総合力で、お客様の課題解決および地域の発展に貢献いたします。



年次有給休暇

・取得率向上のため10連休取得制度の導入

制度導入前

以前は、年次有給休暇を取得するにも連続で取得することに抵抗がある等、取得しづらい状況にあり、年次有給休暇の取得率も低調でした。

制度導入のきっかけ

なかなか年次有給休暇の取得が進まないなか、YSグループ内で導入されていた「10連休取得制度」の導入を検討し、年次有給休暇を計画的に取得するため導入することとなりました。

制度導入の目的

この制度は、新たに休暇を増やすものではありませんが、普段なかなか有給休暇を取得できない労働者が計画的に連続した休暇を取ることによって有給休暇の消化率を上げると共に、仕事を離れてリフレッシュしたり家族サービスに有効な時間を当て、有意義な社会人生活を過ごすことを目的に実施するものです。

制度概要

年度初めに年次有給取得計画表を作成する際に、予め土日祝日を含め10連休以上休むことを計画することを推奨しています。この制度は2分割も可となっており、また、予定前に年次有給休暇を予想外に多く取得している場合等は計画を変更することも可能となっております。

導入効果

この制度は約半数の労働者が利用しています。「10連休取得制度」を導入したことにより年次有給休暇の取得率は年々向上し、昨年度の年次有給休暇の取得率は77.3%まで向上しました。

今後の課題等

この制度が約半数の労働者にしか利用されていない原因の一つとして、通院等で年次有給休暇を利用する労働者が多いことが考えられます。制度利用のため、そして、健康的で充実した生活を実現させるために、今後は、労働者の健康管理にも注意し、より働きやすい職場環境を作りたいと思います。

◆社員のコメント（10連休取得制度利用者）

私は連休取得制度を利用し趣味や旅行等を楽しんでおります。

以前は5連休なんてよほどの事が無い限り取りづらい風潮でしたが、この制度のおかげで気兼ねなく連休を頼む事ができるようになりました。

私の場合は、主に秋のキャンプシーズンに休暇を利用しており、週末、予約が難しいサイトでも平日を利用する事で予約ができたり、連泊など、普段ではできない事を楽しんでおります。また、旅行の場合でも余裕を持って予約ができる事でスケジュール調整がしやすくなり、色々な選択肢が増え、気分も高まります。それは日々仕事をしていく上での楽しみでもあり、その為に仕事頑張ろうと励みにも繋がります。

しかしながら、連休を取得する事で業務に少なからず負担となるのではと不安になりそうですが、そこは「お互い様」という意識で、気にせず楽しんでもらおうと送り出してくれる仲間感謝しております。

テレワーク制度

・柔軟な働き方の実現と人材の確保と流出防止を図るために導入

制度導入前

以前は、テレワークやリモートワークについては、社内での打合せや進捗管理の問題もあり、自社では導入が困難であると考えていました。

制度導入のきっかけ

新型コロナウイルス感染症が発生し、人との接触を避けなければならない事態に追い込まれ、自社でもリモートワークを導入してみようということになりました。

制度導入の目的

テレワークの導入で柔軟な働き方を実現し、人材確保と流出防止を図ることを目的としています。

制度導入までの経過

最初にリモートワークができるかという点が問題となり、コロナ禍でもあったため、「とりあえずリモートワークをやってみよう」ということで、特にルールも定めずに始めました。開始2か月でリモートワークでも業務に対応できるということがわかり、テレワークを行う際のルールを定め、テレワーク制度が制度化されました。

導入効果

この制度は希望者全員が利用することができ、約3割の労働者が利用しています。現状は、週1回テレワークを行うことができます。

また、テレワーク制度とは違いますが、例えば出勤が困難な労働者が利用できるリモートワーク制度もあります。

今後の課題

この制度は令和6年4月より活用され始め、現在、約3割の労働者が利用していますが、制度導入の目的でもあります「柔軟な働き方を実現し、人材確保と流出防止を図る」ことをより充実させるため、利用しやすい制度になるようにしていきたいと思えます。

◆社員のコメント（テレワーク制度利用者）

私は制度導入から毎週欠かさずテレワークを利用しています。

週一回だとそれ程恩恵はないか？とっておりましたが、蓋を開けると多くのメリットがありました。

まず、通勤時間が無くなるということ。私の場合、往復40分～1時間ほどかかりますが、その分余裕が出来るので、家事や趣味に割り当てる時間を増やすことが出来ました。ひと月に3～4時間と考えると中々大きいと思います。次に昼休憩中の選択肢が増えたこと。会社内だとスマートフォンを使って動画を見る、周りを軽く歩くぐらいしか出来ませんでした。テレワーク時は、近くのスーパーに散歩がてら買い物に行く、会社内ではやりにくい筋トレや有酸素運動をする、外食に行ったり自炊するなど、選択肢が多岐に渡り、存分に息抜きしてから午後の仕事に向き合う事が出来ます。

よく在宅だとオンオフの切り替えや生産性について言われますが、私の場合は特に変わっていません。むしろ自分の趣味の物に囲まれ、『このために仕事している！』とモチベーションが上がります(笑)

このような素敵な制度を導入してくれた会社にはもちろん、制度作成に携わったメンバー、共に働く仲間の皆様に感謝しております。

◆トップのコメント

10連休取得制度、イクボス宣言、テレワーク制度の導入と、ここ5、6年の間に社員満足度向上のために色々な施策を講じてきました。その甲斐もあって最近5年間で中途退職した社員は僅か2名（社員数88名）と、社員の定着率にも好影響をもたらしていると思えます。

人は何のために働くのか？ ①生活の糧、②自己成長、③社会貢献と、その理由は多様ですが働く目的は様々でも、社員同士がお互いを尊重し、お互いが連携を取って仕事をする職場から人が去っていくことは無いと思えます。

吉田システムはITを通じて社員間のコミュニケーションを深め、お客様の仕事の効率と精度を上げるためにお役立ちできる会社を目指しています。

代表取締役 黒澤 祥雄

(令和6年10月作成)